

第8回 浦河町総合計画審議会議事録

開催日時 平成29年6月7日(水) 10時00分～11時10分
開催場所 浦河町役場 2階 大会議室
出席委員 16名(早坂誠会長、小林司会長職務代理者、武田宗務委員、神原大輔委員、富田貴憲委員、濱谷雅樹委員、新保雄司委員、富永孝幸委員、木内稔委員、上新雅人委員、小林孝範委員、津澤静子委員、小林美代子委員、永田善美委員、村下知宏委員、杉山綾子委員)
欠席委員 8名(菅正輝委員、高村祐太郎委員、齋藤善厚委員、遠山寛委員、土谷進委員、上田正則委員、三浦敦子委員、野上由佳委員)
浦河町出席者 4名(松田企画課課長 葛西企画課課長補佐 宇田企画課主事 湯谷企画課主事)

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 審 議

資料1：基本計画(案)政策Ⅲ～Ⅴの修正箇所について事務局より説明

【A委員】 資料1ページ、めざす目標値のUターンIターン補助金利用者数について、現状の平成27年の数値がないのは、28年からの事業ということか。

【事務局】 はい。

【A委員】 去年は何人だったのか。

【事務局】 たしか20人弱。なので、それを基に目標値を設定した。

【B委員】 資料4ページの交通安全対策の強化の目標値の部分で、前回も話題に上がったかと思うが、町内交通死亡事故件数を目標値にすると、事故が起きてどなたが亡くなられた時点で未達になる。それを目標値にするより、前回の審議会で通学路の安全対策などの話もあったが、生活道路の安全度に対する満足度のほうがいいのではないか。

【事務局】 交通安全の対策としては、死亡事故0をめざしているので、この目標値でいきたい。前回の審議会で、歩道をつけてほしいけど、なかなかつかないというような意見があった。町としても要望にお応えしたい想いはあるが、限られた財政の中で、なかなか改善できない現状にあるのも事実。皆さんの要望すべてにお応えできる状況にない現状を考えると満足度を目標値とするのは難しい。

【B委員】 交通ボランティアや交通安全指導員の配置など、いろいろやりようはあると思うが。

【事務局】 指導員は、現状でも交通安全週間などには通学路に立っていただいている。ただそれが即、満足度につながるかというところとはいえない。町としても皆さんの想いをすべて汲み取ってやれるのであれば全く問題ないが、十年以上も前から歩道設置の要望を受けていても、なかなか難しい部分があるのもご理解いただきたい。

【事務局】 目標としては、事業をやったことにより、どのように満足していただいているのかを測るのが基本だと思っている。ただ項目によってはそこまで踏み込めない部分がある。例えば、水道事業について当初、水道の満足度を目標値にしたが、今の時点で水道に対する満足度を上げるには水道料金下げるしかないという指摘を議会から受けた。それができるのかという部分もある。交通安全に関しても、まずは事故を減らす取り組みをして、その先に交通安全に対する満足度があるのではないかと考え、少なくとも交通事故で亡くなる方は絶対出さないという強い意志について目標値として掲げた。安全対策の防犯カメラ設置補助についても、制度の趣旨は、通学路などへの設置をこの仕組みによって誘導し、通学路全体の安全性の向上や、安全な場所だという意識を皆さんに持ってもらうといった目的もある。

【C委員】 3点について、まず1つ目。資料3ページ上段、自然環境の保全のめざす目標値で、「要望箇所の海岸護岸整備」の現状が「一」になっていて、目標値が「整備着手」になっている部分。現状は要望がなく、33年には要望があったものに対しては着手しようという理解でいいのか。整備着手が目標値として適切か。2つ目、同じページ下、空き家件数は町で把握しているのか。それから3つ目は、前回気がつかなかったが、9ページ下「四町広域観光宣伝協議会」とあるが、これは観光をとって「四町広域宣伝協議会」に修正をお願いします。

【事務局】 1点目、要望箇所の部分、現状「一」は、要望はしているが手をかけてもらっていない。もちろん過去に要望し、手をかけていただいた部分もある。ここで目標値としたいのは、何年もかけて要望はしているが、なかなか着手していただけてない部分については、少なくとも着手してもらうところまで強力に粘り強く要望を続けていくということ。整備着手が目標値としてどうかということだが、こちらも数量的な目標がなかなか設定ってしづらい分野。というのも、やるといっても例えばその年の、国や道の予算によっては、町としては100やってもらいたいが、20しかできないとか。それでも一度着手すれば、継続的にやってもらうという道筋がつくので、ここは町がいくらお金出すといっても、進む分野ではない。少なくとも地域の皆さんがここは整備が必要だといっている箇所については、とにかく手をかけてもらうといったことをまず求めていくべきだし、目標とすべきではないかと。

【C委員】 それは要望があって、5年の間に要望を訴えて、この5年の間に着手をしてもらうことを目標にするということか。

【事務局】 これまで要望を続けている箇所がある。皆さんのわかりやすいところでいうと、井寒台でちょっと波が高くなると、国道に波が上がる。そこの対策してほしいとか、月寒や白泉の昆布浜が削られているので、その護岸してほしいなど、これまでに要望は続けている。そこを何とか1つでも手をかけてほしいという想いでこういう目標値とした。

【事務局】 町として要望だけをしていればいいのかというのではなく、少なくとも要望した以上は実現させるってことを明確にすべきではないかと。そういった意見もあり、こういう形にさせていただいた。あと、空き家については、件数を把握している。2年前、地域の自治会の皆さんの協力を得て、現地調査をした。3点目については修正する。

資料2：第7次浦河町総合計画・答申（案）について会長より読み上げて説明
（意見なし）～町長への答申

【池田町長】 8回に渡って、熱心なご議論いただき、本当にありがとうございます。私はよく山に例えてお話をさせてもらうが、山に登るその目的、浦河町をよくしたいという願いは一緒だろうと思う。ですが、山の頂上を目指すときに、沢を登っていくのか、尾根伝いにいくのか。あるいは、尾根や沢を交互に登っていくのか。様々な方法がある。だが、この浦河の町をよくしたいという気持ちは皆さんも我々行政もあるいは町民の皆さんも一緒だと思うので、今日いただいた答申を、しっかりとこの町の未来に向かって繁栄するように努めて参りたい。特にご議論いただいたであろう、人口減少。これにどうやって歯止めをかけるのかは私たちにとっても、町民の皆さんにとっても大変大きな課題だと思っている。先日、教育の関係で交流させてもらっている、秋田県の大館市に行ってきた。学力が日本で一番高い秋田県の中でも一番高い市で、7万5千の人口がある。市内には温泉も出て、大学が2つあって、高校が3つ。そして忠犬ハチ公が出たところ。食では、きりたんぼ、あるいは、とりめしが大変有名で、駅弁では何度も日本一になっているようだ。また市内には、注射器を作る医療関係のメーカーの300人規模の工場。あるいは、大手企業のジェットエンジンやロケットエンジンの研究施設。らせん階段のシェアが日本では圧倒的に高い会社など大企業もあるが、そこでの人口減少率は浦河よりもはるかに厳しい。そういう話を伺ってきた。私としては、温泉もある、ハチ公もいる、うらやましい街だと思ったが、そこでもそれだけ厳しい。朝起きて商店街を歩いてみると、ほとんどがシャッター街か廃屋。たまに開いている店をみると、本当に高齢のおじいちゃんがシャッターを開けている。そういう感じだった。これから日本、地方都市はどうなっていくのか非常に深刻な想いで帰ってきた。ため息をついて、下を向いていてこの町がよくなるのであれば、いくらでも愚痴ったり、ため息はつくが、それではこの町はよくなる。皆さんのこういった熱い想いをしっかりと受けとめ、前を向いて、職員共々さらにこの町がよくなるようにがんばるので、どうか皆さんのこれからのこの計画の進捗度合に対する目もしっかりと光らせていただきたい。本当に長期間に渡りありがとうございました。

(町長退席)

【会 長】 8回に渡り、本当に皆さんから建設的な意見をたくさんいただき、今日の答申まで辿り着けた。本当にありがとうございました。

【事務局】 事務局からも深くお礼を申し上げます。答申が本日終わったので、皆様方の任期については、本日で終了になる。長い間本当にありがとうございました。町長のあいさつにも答申の中にもあったが、総合計画は、作って終わりではなく、これからどのように活かされているのかといった、チェックの目を持っていただきたい。町としても進捗状況や事業の効果については積極的に皆様方に明らかにしていきたい。今度は検証や評価、見直しなどいろんな場面でお力を借りるときが出てくると思うのでよろしくお願ひしたい。いままでありがとうございました。

4. 閉 会